

## 効果の判定など 判断は専門家に

**Q** 六十四歳、男性。白内障に八味地黄丸（はち味である。

みじおうがん）がよいと聞いて二年ほど服用していますが変化ありません。眼科では手術を勧められています。ただ持病だった腰痛が軽くなり、前立せん肥大による夜間尿も少しよいようです。このような場合、八味地黄丸の服用は続けるべきでしょうか。

**A** 八味地黄丸は白内障、腰痛、前立せん肥大など老化にもとづく諸疾患に広く使われる漢方薬の中で最も一般的な処方の一つである。その効果はすぐに表れる場合と数カ月しないと表れない場合がある。後者の場合、数カ月で病気が治るといふ意味ではなく、なんらかのよい兆候が表れるのにそのくらいの日数が必要という意

味である。

質問者の場合、いつの間にか腰痛などの症状が軽減しており、以前に比べ疲れにくくなったという。従って、処方をもう少し工夫すれば白内障にも一定の効果がみられる可能性はある。例えば微小循環改善作用をもつ桂枝茯苓丸（けいしぶくりょうがん）や大黄牡丹皮湯（だいおうぼたんぴとう）などを併用してみるのも一つの方法である。白内障の原因によっては漢方治療の奏効しないタイプもある。この場合、白内障は手術し、他の全身状態の改善を目的に漢方薬を服用するのも一つの選択肢となる。

漢方薬は長期間服用しても安全性が高いものが多いが、効果の判定や継続・中止の判断は専門家にゆだねるのが賢明である。